

科目名	短期海外研修 B						年度	2026	
英語科目名	Short term study abroad B						学期	前期	
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツインストラクターコース 2年次	必/選	選※	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	杉浦	教員の実務経験	有	実務経験の職種	アスレティックトレーナー				
【科目の目的】 アメリカのスポーツ文化について学びます。日本とのスケールの違いを体感してください。そして、なぜアメリカのスポーツ文化がこれほどに大きくなったのかを自分なりに考えてみてください。またスポーツ先進国と呼ばれているアメリカのスポーツ医学への考え方や取り組み方なども同時に学び、自分に不足している部分(知識・技術など)を確認し、課題を見つけ自身の今後に役立てていきましょう。									
【科目の概要】 海外において人体解剖、テーピング、コンディショニングなどの実習を体験し、最新のトレーナー教育についての理解を深めます。									
【到達目標】 A. 国際的な視野に立ち、異なるスポーツ文化に触れることで、スポーツをより深く理解することができる。 B. 最先端のスポーツ現場に触れることで、自らが高い意識をもって高い目標設定ができるようになる。 C. 団体で行動する能力を身につける									
【授業の注意点】 現地コーディネーター、引率教員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないでください。貴重品の管理に注意してください。特にパスポートの紛失がないようにしてください。たくさんの経験をするため過密スケジュールとなります。各自、体調管理の徹底をお願いします。ホテルでの朝食をしっかりと摂りましょう。 ※短期海外研修Aを取得した学生は、グループをまとめるなどリーダー的な役割を担ってまいります。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	国際的な視野に立ち、異なるスポーツ文化に触れることで、スポーツをより深く理解することができる。		国際的な視野に立ち、異なるスポーツ文化に触れることで、スポーツをある程度、理解することができる。		国際的な視野に立ち、異なるスポーツ文化に触れることで、スポーツを少し理解することができる。				
到達目標 B	最先端のスポーツ現場に触れることで、自らが高い意識をもって高い目標設定ができるようになる。		最先端のスポーツ現場に触れることで、高い目標設定ができるようになる。		最先端のスポーツ現場に触れることで、ある程度の目標設定ができるようになる。				
到達目標 C	団体でも積極性を持って行動することができる		団体でも責任感をもって行動することができる		団体でも行動する事ができる				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 解剖学実習に関する事前課題資料を配布します。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 解剖学実習に向けた事前課題を行います。研修参加にあたり各自で目標設定をして、最終的に各自で自己評価をします。研修中の受講態度や研修に臨む姿勢を評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		短期海外研修 B			年度	2026
英語表記		Short term study abroad B			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	事前研修	事前研修	1 渡航前研修	渡航前の事前研修により、目的、スケジュール、ルール等を理解する	3	
2	オリエンテーション	現地オリエンテーション	1 現地オリエンテーション	現地でのオリエンテーションから、研修における注意事項とスケジュールの確認をします	3	
3	異文化交流	異文化交流	1 国際交流	現地学生との国際交流からスポーツを学ぶ仲間と共に聞く・話す・伝える力を身につけます	3	
4	大学スポーツ施設見学	大学スポーツ施設見学	1 大学施設視察	現地大学内の広大なスポーツ施設を見学することで、最新の施設設備について理解する	3	
5					3	
6	検体解剖学	現地解剖学実習	1 現地解剖学実習	現地での検体による解剖実習により、より高い知識を身につけます。	3	
7					3	
8	スポーツクリニック視察	スポーツクリニック視察	1 スポーツクリニック視察	現地のスポーツクリニックを視察することで、最新のスポーツ医学的知識を身につけます	3	
9	アスリートのリハビリ	アスリートのリハビリ	1 アスリートのリハビリ	現地におけるアスリートのリハビリテーションの最新事情を把握することでより高い知識を身につけます	3	
10	プロスポーツ施設視察	プロスポーツ施設視察	1 プロスポーツ施設視察	現地プロスポーツの施設を見学することで、最新のプロスポーツ事情についての知識を身につけます	3	
11		プロスポーツ観戦 1	1 プロスポーツ観戦 1	現地プロスポーツチームの試合を観戦します	3	
12	プロスポーツ観戦	プロスポーツ観戦 2	1 プロスポーツ観戦 2	現地プロスポーツチームの試合を観戦します	3	
13	ストレングス&コンディショニング実技	ストレングス&コンディショニング実技	1 ストレングス&コンディショニング実技	現地トレーニング施設において、現地トレーナーからトレーニングを受けることで、より高度な体験をします	2	
14	フィットネス施設視察とパーソナルトレーナー視察	フィットネス施設視察とパーソナルトレーナー視察	1	フィットネス施設視察 パーソナルトレーナー視察	現地フィットネス施設で、最新のパーソナルトレーニングを体験します	3
15	事後研修	事後研修	1	まとめ 振り返り	帰国後にまとめと振り返りを行い、各自の学びを参加者全員で共有します	3

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等